

□■ 16 鬼ごっこクリエイター ■□

～ ぼくらの鬼ごっこを創ろう！ ～

あなたは、いくつの鬼ごっこを知っていますか？
知っている鬼ごっかも、場所や人数、様々な制約の中で、ルールを変えてやったことはありませんか？もしくは、「こうやったらもっと面白い！！」と閃いたことは？
妄想の中でいいから、まずは新しい鬼ごっこを創ってみましょう。楽しそうなら、よしやろう！



りょうちゃん

*対象…小学校高学年～
*人数…何人でも
*時間…30分

#創造力#あそび力#面白がる気持ち

用意するもの

□ 紙とペン

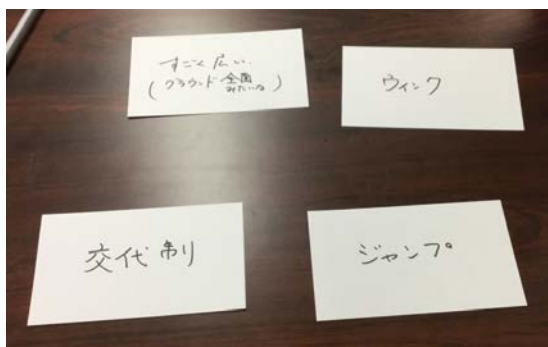
□ 条件カード

オニ 1人、2人、半分オニ、全員オニ、タッチで捕まる、タッチされたら交代、タッチされたら〇〇 etc.

エリア グラウンド、体育館、バスケットボールコート半分、教室 etc

移動手段 走る、早歩き、歩く、一足歩行、けんけん、お尻歩き、ジャンプ、スキップ etc

スペシャル 柔らかいボール、新聞紙の剣、チーム制、ファンタジー、ウィンク、じゃんけん、トランプ、サイコロ、お姫様、筋トレ、大声、かけ声、色、合言葉 etc

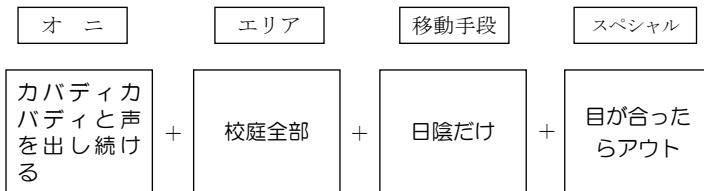


進め方

- 3-4人で1グループを作り、紙とペンを囲んで座る。（5人を超えると、アイデアを出しにくいかも）
- まず、全員が知っている鬼ごっこを全て書きだしてみる（制限時間5分）書きだしたリストを見て、どんな鬼ごっこがあるかを知る。
- **オニ**、**エリア**、**移動手段**、**スペシャル**、の4ジャンルから条件カードをそれぞれ1枚ずつカードを引く。
- その4つの条件を使った鬼ごっこを創る。
（条件カードは、アイデアを出すためのツールなので、その条件が創造力の邪魔になるようなら、カードを取り替えたり、解釈を変えたり、ゆるやかな対応をする）
- 鬼ごっこのタイトルをつける
- 各グループで全体に発表をする。
- 面白そうだった鬼ごっこを実際にやってみる。

注意事項

- ドロケイのようなチーム対抗、缶蹴りのようなかくれんぼも、鬼ごっこの類ということ伝えておくと、子どもたちの鬼ごっこのイメージの幅が広がる。
- 要は、ワクワクしながら楽しい遊びを考えられたらOKなので、無理そうなアイデアも、とにかく否定しないでどんどん広げる。
- 大人は、子どもたちの創造力を面白がって聴く。



どんな鬼ごっこやねん??



まずはやってみよう!!